

田柄用水のできたころ

学区域にあるグリーンベルトの所は、昔の田柄川が流れていたところです。

この田柄川は、もともと光が丘付近から流れ出す雨水などを集めて石神井川に流れている自然の川でした。雨水にたよるだけでは、水田ができないので、明治四年に、たくさんのお金と人々の力によって玉川上水から水をひくことになりました。これが、田柄用水とよばれるものです。おかげで、畑から田にかえる農家がふえ、昭和にいたるまで、このあたりの田や畑をうるおすことができ、いくつかの水車を回すこともできたそうです。

おじいさんたちが子どものころは、ふなをとったり水遊びをしたりできましたが、雨がふるたびに、はんらんしたので、昭和四十六年に川を道路の下に流す工事がはじまりました。

田柄川の上は、緑道や緑地として利用されるようになりグリーンベルトとよばれています。